

第101回助産師国家試験における採点除外等の扱いをした問題について

午後 第55問

次の文を読み54、55の問いに答えよ。

Aさん(39歳、会社員)は、妊娠を希望して不妊専門クリニックを受診したところ、夫(44歳、会社員)が乏精子症であることが分かり顕微授精をすることになった。Aさんは「不妊治療費の公費の助成があると聞いたので詳しく知りたい」と質問した。Aさん夫婦の合算した年間所得と治療は助成の対象であることが分かった。

55 Aさんは不妊治療を開始して2年目に妊娠した。分娩予定日は10月20日であった。妊娠中期からしばしば腹部緊満感があり、子宮収縮抑制薬の内服を続けていたが、仕事が忙しく思うように休養をとることができなかった。8月23日(妊娠31週5日)に切迫早産のため入院となり点滴静脈内注射を開始したが子宮収縮を抑制できず、9月3日(妊娠33週2日)に緊急帝王切開術で分娩となった。

Aさんが請求できる産前産後休業について正しいのはどれか。

1. 産後休業の起算日は9月3日である。
2. 産前休業は8月23日から適用される。
3. 帝王切開術のため産後休業は2週間長く請求できる。
4. 医師の許可があれば産後5週で復職できる。

採点上の取扱い

採点対象から除外する。

理由

選択肢に正解がないため。